



あなだれません。町田



携帯電話用  
QRコード

2008年 6月21日 No.70

# まちだの教育

MACHIDA

TEL 042-722-3111 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>

主な内容	
2面	開かれた学校をめざして セーフティ教室
3面	イベントカレンダー
4面	エコスクールの整備推進 中学校2年生職場体験事業 教科用図書展示会のご案内

発行:町田市 編集:学校教育課 教育総務課 ☎194-0022 町田市森野1-33-10

## 具体的な取り組み例の様子



規範教育・朝清掃(中学生)



キャリア教育・お店体験(小3)



英語教育・小学校英語活動



食育・バケツ稲(小5)



教師用指導資料



保護者向けリーフレット



町田市版道徳副読本

## 町田市の小中一貫教育 4月から全校でスタート

市立全小・中学校を本市独自の重点カリキュラムでつなげる全市型の小中一貫「町田っ子カリキュラム」が、この4月からスタートしました。小中一貫「町田っ子カリキュラム」には、規範教育、キャリア教育、英語教育、食育の4領域があり、それぞれ重点カリキュラムと選択カリキュラムで構成されています。

重点カリキュラムは、それぞれの領域のねらいを踏まえて編成され、各学年の発達段階に応じて学習することにより、9年間の連続性が期待できるカリキュラムです。したがって、全小・中学校で取り組むことを前提としています。この中には、従来の教科学習で取り上げてきた内容も含まれています。

選択カリキュラムは、各領域について、さらに充実した取り組みを進めようという場合、あるいは自校の特色として取り組む場合に参考にするカリキュラムです。

### ①町田市版道徳副読本の全児童・生徒への配付

小中一貫教育で取り組むカリキュラムは、学校、保護者・地域、児童生徒の3者が力を合わせなければ、十分な効果を発揮できません。そのため、それぞれの方向からアプローチするために、次の3点の資料を作成、配布します。

それぞれのカリキュラム作成委員会が指導内容を検討した結果、規範教育では「あいさつ・言葉遣い、生命尊重、公共のマナー」、キャリア教育では「勤労や社会への奉仕、公共の福祉」、食育では「感謝」などの心の教育を充実する方向でまとまりました。

これらの指導の中核となるのは、『道徳の時間の指導』です。そのため、児童・生徒には、町田市の小中一貫教育に即するように独自に作成した道徳副読本を配付し、心の教育の充実をはかります。

### ②教師用指導資料の配付

全学級担任には、特別活動や総合的な学習の時間で指導する重点カリキュラムの教師用指導資料を配付しました。児童・生徒に配付したり、教室に掲示できるなど、授業

### ③保護者向けリーフレットの作成

保護者の皆さまには、規範教育と食育についてのリーフレットを作成し、学校と家庭とで連携した取り組みを進めてまいります。

既に、4月には、規範教育の「あいさつ」、6月には、規範教育の「いじめ」に関する内容のリーフレットを全小・中学校の保護者に配布いたしました。今後、6月に「食育」、9月に規範教育の「情報モラル」についてのリーフレットを配付する予定です。是非とも、ご家庭でご活用下さるようお願いいたします。

既に、4月には、規範教育の「あいさつ」、6月には、規範教育の「いじめ」に関する内容のリーフレットを全小・中学校の保護者に配布いたしました。今後、6月に「食育」、9月に規範教育の「情報モラル」についてのリーフレットを配付する予定です。是非とも、ご家庭でご活用下さるようお願いいたします。

## 授業に役立つデジタル教材

教育委員会では、2005年度に市立小・中学校全60校を、大容量の高速回線をつなぐ学校ネットワークを整備しました。このネットワークを利用したデジタル教材を各学校で共有できるシステムを構築し、授業でのICT(情報コミュニケーション技術)の活用を推進しています。

### これまでの学校ネットワーク整備内容

パソコン整備  
学校ネットワークを市立小・中学校全校に接続するとともに校内ネットワークの整備を行い、すべての普通教室・特別教室でインターネットを利用できる環境を実現しました。2007年度末現在、3360台のパソコンが学校ネットワークに接続されています。

### デジタル教材整備

文部科学省等が作成した150種類以上のデジタル教材が、各学校で利用できます。教育委員会でも教職員と協力し、モデル授業のビデオ、教科別教材、町田市の施設紹介など約40点のデジタル教材を作成しました。また、学習指導案をデータ化し、約240点が収録されています。

### デジタル教材の活用に関する調査

昨年10月に各小・中学校の

教職員を対象に、授業でのデジタル教材の活用に関するアンケート調査を行いました。

授業でのインターネット、CD・ROMやビデオ等の視聴覚教材を含むデジタル教材全般の利用についての質問に対して、「よく利用する」と答えた教職員は、全体の65%でした。これに「今後、利用してみたい」を加えると、全体の88%となり、デジタル教材を活用した授業への関心は、高くなっています。

### 情報モラル教育用教材の導入

インターネットや電子メール、携帯電話などが身近なものとなり、子どもたちに情報社会の一員としてのモラルを指導することが、大変重要となっています。

教育委員会では、今年度から実施する小中一貫教育において、規範教育の中に、情報モラル教育を位置付け、子どもたちを指導しています。同時に、情報モラル教育用のデ



情報モラル教育用教材(事例で学ぶNetモラル)

### 授業に役立つデジタル教材を目指して

今後さらに授業におけるICTの活用を推進していくために、授業に役立つデジタル教材の整備、デジタル教材の共有システムの利用促進、授業へのサポート体制の充実、教職員への教材開発研修の実施を進めてまいります。

また、パソコンや周辺機器を充実させ、より身近に利用できる環境を整備するとともに、研修等を通じて教職員のICTを活用した指導力の向上に努めます。